

# YAMABOKUワイルドスノーパーク

## リフト安全報告書

山田牧場 第1 ペアリフト  
山田牧場 第2 ペアリフト  
山田牧場 第3 リフト

平成22年度版

南志賀開発株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用並びにご理解を賜わり、誠にありがとうございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

南志賀開発株式会社  
YAMABOKUワイルドスノーパーク  
代表取締役 関谷小一郎

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努める。
- ② 郵送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。
- ⑥ 情報は漏れないよう迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦するよう努める。

### (2) 安全目標

平成22年度索道輸送安全目標は次表のとおりです

区分	項目	内容
定量的な目標	設備の不具合による事故	保守、管理の徹底を図り、事故を未然に防ぐ。
	人身障害事故	今年度の人身障害事故を無事故とする。

### 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

#### (1) 索道運転事故

平成22年度はありませんでした。

#### (2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

平成22年度は、災害による運行停止はありません。

#### (3) インシデント(事故の兆候)

平成22年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

#### (4) 行政指導等

平成22年度はありませんでした。

### 4. 運輸の安全確保のための取組み

#### (1) 人材教育

当社では、平成22年度は、安全輸送のために、北陸信越索道協会の索道技術研修会に従業員を参加させ、専門的な知識の向上を図っております。また、シーズン営業開始前に施設及び取り扱いについての安全教育を実施しております。

#### (2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズンの営業開始前に、リフト職員一同にて救助訓練を実施しております。

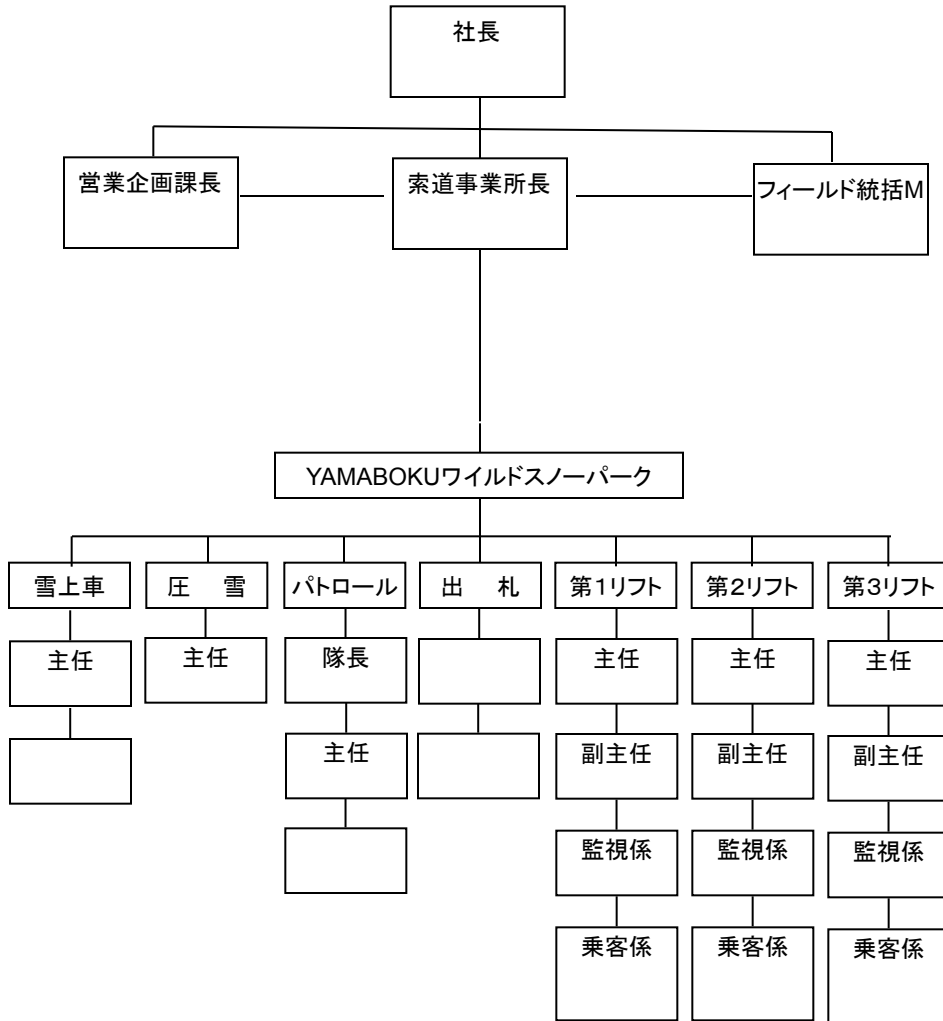
#### (3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の5%を目処に施設の修繕費に充てるべく努力をしております。平成22年度の主だった改修には第1ペアリフト、第2ペアリフト、第3リフトの各乗車場の整備、シーズン開始前の握索機の分解洗浄およびグリスアップを入念におこなっております。

## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また、各現場にて、ヒヤリ・ハットやお客様からの苦情改善要望等が発生した場合は、索道技術管理員への朝礼時にその内容を伝達し、日々の業務に反映させております。



### ◆担当配置要員(常用)

雪上車担当	2
圧雪担当	2
パトロール担当	5
出札担当	3
リフト・トロイカ	19
営業企画	1
管理・統括	3
スタッフ計	35

臨時スタッフ

※状況により移動

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全総括管理者	<p>索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保を最優先とした輸送業務の実施及び管理部門を統括管理する。</li> <li>・全職員に対し、関係法令等の遵守と安全第一の意識を徹底させる。</li> <li>・輸送業務の実施及び管理の状況について、随時確認を行い、必要な改善措置を講ずる。</li> <li>・輸送の安全確保に関する事業運営上の重要な決定に参画し、社長、役員または管理職その他関係する責任者に対し、輸送の安全確保に関し、その職務を行う上での必要な意見を述べる。</li> </ul>
索道技術管理者 事業所長	<p>安全統括管理者の指導の下、索道の運行を管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・索道の運行に関すること。</li> <li>・索道施設の保守管理に関すること。</li> <li>・索道の運行及び施設の保守管理に関する業務について、随時、索道技術管理者へ報告する。</li> </ul>
主任、副主任 (索道技術管理員)	<p>索道技術管理者の指揮の下、索道の運行を管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・索道の運行に関すること。</li> <li>・索道施設の保守管理に関すること。</li> <li>・索道の運行及び施設の保守管理に関する業務について、随時、索道技術管理者へ報告する。</li> </ul>

## 6. 利用者の皆さまの連携とお願い

(1)YAMABOKUワイルドスノーパークは「お客様の声をかたちにしています」より安全で信頼されるリフト運行管理ができるように、また快適な施設の提供により、ご満足をいただくため、お寄せいただいた“お客様の声”を役立てています。  
平成23年度にはスキー場ゲレンデ内に新設の公衆トイレが完成をいたしました。

### (2)リフト乗車時の注意事項

- ①乗り方の慣れないお客様は、係員にそのことを申し出てください。
- ②小さいお子様とご乗車される際には特に乗り降りにご注意下さい。不安なお客様は、係員にそのことを申し出てください。また、乗車中のお客様の管理にも十分にご配慮をお願いします。
- ③空き缶、タバコの吸殻、その他の物品等を、乗車中にリフトから投げ捨てないでください。
- ④リフト搬器(椅子)から飛び降りたり、搬器(椅子)を揺らさないでください。
- ⑤所定の乗降所に到着した所で、乗り降りしてください。
- ⑥衣類、携行品、髪の毛等が、施設に巻きつかないようにご注意願います。
- ⑦改札後は、係員の指示に従ってください。

## 7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

YAMABOKUワイルドスノーパーク ・ 山田温泉キッズスノーパーク

〒382-0817

長野県上高井郡高山村大字奥山田字山田入3681-352

南志賀開発株式会社

TEL 026-242-2614 FAX 026-242-2510

E-mail [info@yamaboku.jp](mailto:info@yamaboku.jp)

■ 年中無休 8:00 ~ 21:00